

対象校No.  
注4

学校コード F101310100203  
注3

設置年度 令和 7年度

計画の区分： 学部の設置  
注1

届出

注2  
北海道科学大学 情報科学部

【認可】 設置に係る設置計画履行状況報告書  
(改正後大学設置基準適用)

学校法人 北海道科学大学  
令和7年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名	学務部教務企画課
職名・氏名	カチョウ サトウ ユウスケ 課長 佐藤 祐亮
電話番号	011-688-2262
(夜間)	011-688-2262
e-mail	k-kikaku@hus.ac.jp

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。  
2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。  
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に  
( )書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・大学の設置の場合：「〇〇大学」
- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

- 3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。  
なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、  
当該番号を記載してください。

[https://www.mext.go.jp/b\\_menu/toukei/mext\\_01087.html](https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html)

- 4 対象校No.については、「【別紙】令和7年度AC報告書提出対象学科等.pdf」より、  
該当番号を記載してください。

# 目次

情報科学部

<情報科学科>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	11
4. 既設大学等の状況	12
5. 教育研究実施組織の状況	13
6. 附帯事項等に対する履行状況等	23
7. その他全般的事項	24

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人 北海道科学大学

## (2) 大学名

北海道科学大学

## (3) 調査対象大学等の位置

〒006-8585  
北海道札幌市手稲区前田7条15丁目4番1号

(注)・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。

・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(トマベチ ツカサ) 苫米地 司 (平成29年9月)		
学長	(カワカミ タカシ) 川上 敬 (令和4年4月)		
学部長	(マツザキ ヒロキ) 松崎 博季 (令和7年4月)		
学科長等	(マツザキ ヒロキ) 松崎 博季 (令和7年4月)		

(注)・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を

( )書きで記入してください。

(例) 令和6年度に報告する内容 → (6)

令和7年度に報告する内容 → (7)

・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。

・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注)・当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
  - ・様式は、令和2年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合（令和7年度までの6年間）ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
  - ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「留学」の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生を記載してください。
  - ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
情報科学部 情報科学科 学士（工学）	工学関係	4年	100人	2年次 0人 3年次 0人 4年次 0人	400人	-	※基礎となる学部等 工学部情報工学科

- (注)・定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
  - ・「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1）又は（その2の2））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
  - ・学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。（学生募集停止を予定していない場合は「-」を選択。）

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		春季入学以外の 学期区分について	収容定員 充足率	収容定員 充足率 (控除後)	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期				
A 入学定員	一人 (-) [-]	一人 (-) [-]	一人 (-) [-]	一人 (-) [-]	一人 (-) [-]	一人 (-) [-]	一人 (-) [-]	一人 (-) [-]	一人 (-) [-]	一人 (-) [-]	100人 (-) [-]	一人 (-) [-]	-	1.08倍	-	
志願者数	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	1,120 [1]	(-) [-]	春季入学以外の 入学時期と 入学定員内訳			
受験者数	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	1,071 [1]	(-) [-]	-			
合格者数	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	309 [1]	(-) [-]	-			
B 入学者数	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	108 [1]	(-) [-]	-			
入学定員超過率 B/A	-		-		-		-		-		1.08					

- (注)・報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「-」を記入してください。
  - ・（ ）内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年度で行っている場合には、(( ))書きとするなど、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
  - ・転入学生は記入しないでください。
  - ・[ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
  - ・学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。
  - ・「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
  - ・報告年度に春季入学以外の学期区分の設定を予定している場合は、「春季入学以外の学期区分について」で「春季入学以外の学期区分を設ける予定」を選択するとともに、下欄に、入学時期と入学定員の内訳（予定を含む）を記載してください。（春季入学以外の学期区分の設定を予定していない場合は「-」を選択。）
  - ・「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和8年度開設用）IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
  - ・「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
  - ・「(5) -② 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等」の「平均入学定員超過率」及び「収容定員充足率」は、「4 既設大学等の状況」AC対象学部学科等の倍率と一致しますので、留意して計算してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	108	-	
	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ 1 ]	[ - ]	
	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	
2年次			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
			[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	
			( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	
3年次					-	-	-	-	-	-	-	-	
					[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	
					( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	
4年次							-	-	-	-	-	-	
							[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	
							( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	
計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	108	-	
	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ 1 ]	[ - ]	
	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	

(注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

- ・ [ ]内には、留学生の状況について、**内数**で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ ( )内には、留年者の状況について、**内数**で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。
- ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[ ]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和2年度	- 人	- 人	令和2年度	- 人	- 人	
令和3年度	- 人	- 人	令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
令和4年度	- 人	- 人	令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
令和5年度	- 人	- 人	令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	- 人	- 人	
令和6年度	- 人	- 人	令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	- 人	- 人	
			令和6年度	- 人	- 人	
令和7年度	108 人	0 人	令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	- 人	- 人	
			令和6年度	- 人	- 人	
			令和7年度	0 人	0 人	
合計		0 人		0 人	0 人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)  
 ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。  
 ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。  
 ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生、転科生も含めて記入してください。  
 ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「修学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
 (記入項目例)・修学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(a+b)}} = \frac{-}{\#VALUE!} = \boxed{-} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(a+b)}} = \frac{-}{\#VALUE!} = \boxed{-} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(a+b)}} = \frac{-}{\#VALUE!} = \boxed{-} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(a+b)}} = \frac{-}{\#VALUE!} = \boxed{-} \%$$

【令和6年度】

$$\frac{\text{令和6年度の退学者数(a)}}{\text{令和6年度の在学者数(a+b)}} = \frac{-}{\#VALUE!} = \boxed{-} \%$$

【令和7年度】

$$\frac{\text{令和7年度の退学者数(a)}}{\text{令和7年度の在学者数(a+b)}} = \frac{0}{108} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<情報科学部 情報科学科>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			基幹教員等の配置					の専任教員(助手)以外
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
HUSスタンダード科目	日本語表現法(作文、論文)	1前	○	1			1					1
	日本語表現法(読解、分析)	1後	○	1			1					1
	英語(環境)	1前	○	1			1					5
	英語(科学)	1前	○	1			1					5
	英語(時事)	1後	○	1			1					5
	課題発見解決法Ⅰ(課題発見解決スキル)	1後	○	1				1				1
	課題発見解決法Ⅱ(地域課題)	2前	○	1			1	1				2
	情報処理法	1前	○	1				1				
	統計分析法	1前	○	2				1				
	データサイエンス	1後	○	2					1			
	AI入門	2前	○	2			1					
	フレッシュマンセミナー	1前	○	1			5	6	1	1		
	+Professionalセミナー	2後	○	1					1			
	現代倫理学	2後	○	2				1				
	SDGs(環境と自然)	1前・後			1				1			
	SDGs(環境と人権)	1前・後			1							2
SDGs(国際平和と民族)	1前・後			1							1	
SDGs(多文化共生)	1前・後			1							1	
小計(18科目)	-			18	4	0	5	9	3	1	0	12
共通科目	体育実技Ⅰ	1前			1							2
	体育実技Ⅱ	1後			1							2
	健康科学	1前			2							1
	日本国憲法	2後			2							1
	キャリア形成Ⅰ	1後		1								1
	キャリア形成Ⅱ	2前		1								4
	ビジネススキルⅠ	3前		2			2					1
	ビジネススキルⅡ	3後		2			2					
	技術者のための英語	1後		1								2
小計(9科目)	-			7	6	0	0	2	0	0	0	10
専門教育科目	基礎数理解演習	1前	○	2			1	1				1
	微分積分基礎	1後			2		1	1				
	線形代数基礎	1後			2		1	1				
	微分積分Ⅰ	2前			2		1	1				
	微分積分Ⅱ	2後			2		1	1				
	線形代数Ⅰ	2前			2		1	1				
	線形代数Ⅱ	2後			2		1	1				
	工業数学Ⅰ	3前			2		1	1				
	工業数学Ⅱ	3後			2		1	1				
	幾何学Ⅰ	3前			2		1					
	幾何学Ⅱ	3後			2		1					
	情報数学	2後			2			1				
	確率統計	3後			2							1
	情報理論と確率モデル	4前			2			1				
	データサイエンスプログラミング	3前			2			1				
	機械学習応用	3後			2			1				
	知能科学	3前			2			1				
	知能ソフトウェア演習	3後			2			1				
	システム最適化	4前			2			1	1			
	システムアドミニストレーション	1前			2							1
	情報テクノロジー基礎	1後			2							1
	マネジメントとストラテジ	2前			2					1		
	情報メディア処理	2前			2			2				
	情報メディア処理演習	2後			2			2				
	セキュリティ理論	3前			2			1				
	プログラミング入門	1前	○	2			1					
	プログラミング開発基礎	1後	○	4			1	1				
Pythonプログラミング	2前			2				1				
プログラミング開発演習	2後			2			1			1		
Javaプログラミング	3前			2						1		
Webデザイン	3前			2			1					
Webシステムプログラミング	3後			2			1					
ビッグデータとデータベース	2前			2						1		
システム開発	2後			2			1					
クラウドコンピューティング	2後			2			1					
ソフトウェア設計	3前			2			1					

【令和7年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			基幹教員等の配置					の専任教員(助手)以外
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
HUSスタンダード科目	日本語表現法(作文、論文)	1前	○	1				1				2
	日本語表現法(読解、分析)	1後	○	1				1				2
	英語(環境)	1前	○	1				1				8
	英語(科学)	1前	○	1				1				8
	英語(時事)	1後	○	1				1				8
	課題発見解決法Ⅰ(課題発見解決スキル)	1後	○	1					1			1
	課題発見解決法Ⅱ(地域課題)	2前	○	1			1	1				1
	情報処理法	1前	○	1				1				
	統計分析法	1前	○	2				1				
	データサイエンス	1後	○	2					1			
	AI入門	2前	○	2			1					
	フレッシュマンセミナー	1前	○	1			6	5	2	1		
	+Professionalセミナー	2後	○	1					1			
	現代倫理学	2後	○	2					1			
	SDGs(環境と自然)	1前・後			1				1			
	SDGs(環境と人権)	1前・後			1							2
SDGs(国際平和と民族)	1前・後			1							1	
SDGs(多文化共生)	1前・後			1							1	
小計(18科目)	-			18	4	0	7	9	3	1	0	15
共通科目	体育実技Ⅰ	1前			1							4
	体育実技Ⅱ	1後			1							2
	健康科学	1前			2							1
	日本国憲法	2後			2							1
	キャリア形成Ⅰ	1後		1								2
	キャリア形成Ⅱ	2前		1								4
	ビジネススキルⅠ	3前		2			1	1				
	ビジネススキルⅡ	3後		2			1	1				
	技術者のための英語	1後		1				1				8
小計(9科目)	-			7	6	0	1	2	0	0	0	18
専門教育科目	基礎数理解演習	1前	○	2			1	1				1
	微分積分基礎	1後			2		1	1				
	線形代数基礎	1後			2		1	1				
	微分積分Ⅰ	2前			2		1	1				
	微分積分Ⅱ	2後			2		1	1				
	線形代数Ⅰ	2前			2		1	1				
	線形代数Ⅱ	2後			2		1	1				
	工業数学Ⅰ	3前			2		1	1				
	工業数学Ⅱ	3後			2		1	1				
	幾何学Ⅰ	3前			2		1					
	幾何学Ⅱ	3後			2		1					
	情報数学	2後			2			1				
	確率統計	3後			2							1
	情報理論と確率モデル	4前			2			1				
	データサイエンスプログラミング	3前			2			1				
	機械学習応用	3後			2			1				
	知能科学	3前			2			1				
	知能ソフトウェア演習	3後			2			1				
	システム最適化	4前			2			1				
	システムアドミニストレーション	1前			2							1
	情報テクノロジー基礎	1後			2							1
	マネジメントとストラテジ	2前			2					1		
	情報メディア処理	2前			2			2				
	情報メディア処理演習	2後			2			2				
	セキュリティ理論	3前			2			1				
	プログラミング入門	1前	○	2			1					
	プログラミング開発基礎	1後	○	4			1	1				
Pythonプログラミング	2前			2					1			
プログラミング開発演習	2後			2			1			1		
Javaプログラミング	3前			2						1		
Webデザイン	3前			2			1					
Webシステムプログラミング	3後			2			1					
ビッグデータとデータベース	2前			2						1		
システム開発	2後			2			1					
クラウドコンピューティング	2後			2			1					
ソフトウェア設計	3前			2			1					

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			基幹教員等の配置					教員 <small>（助手を除く）</small>
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門教育科目	モバイルシステム構築演習	3後			4		2		1			
	デジタル情報通信入門	1前	○	2			1					
	インターネット工学	1後		2					1			
	インターネットセキュリティ	2前		2			1					
	電気電子回路	2前			2		1					
	コンピュータネットワーク演習	2後			2		1	1			1	
	エンベデッドシステム	3前			2		1					
	ネットワークシステムデザイン	3後			2		1					
	情報と職業	3後			2				1			
	技術者の倫理	4後			2				1			
	情報科学実験Ⅰ	1前	○	2			1	3				
	情報科学実験Ⅱ	1後	○	2			1	2			2	
	情報科学演習	2前	○	2			2					
	情報科学実験Ⅲ	2後	○	2			3				1	
	情報科学プロジェクトⅠ	3前	○	2			6	5	1	1		
情報科学プロジェクトⅡ	3後	○	2			6	5	1	1			
情報科学プロジェクトⅢ	4前	○	2			6	5	1	1			
小計(53科目)				34	76	0	7	6	1	1	0	5
卒業研究	4通	○	8				5	5	1	1		
小計(1科目)				8	0	0	5	5	1	1	0	0
教育の基礎的理解に関する科目	教職入門	2前				2						1
	教育心理学	3前				2						1
	教育課程論	2後				2						1
	教育原理	3前				2						1
	教育の方法及び技術(情報通信技術の活用含む)	3後				2						1
	特別活動及び総合的な探究の時間の指導法	2後				2						1
	特別支援教育	3後				1						1
	生徒指導・進路指導論	4前				2						1
	教育相談	4後				2						1
	教育実習	4通				3						2
	教育制度と学校経営	3前				2						1
	教職実践演習(高)	4後				2						1
小計(12科目)				0	0	24	0	0	0	0	0	5
各教科の指導法	情報科教育法	3通				4						1
	数学科教育法	3通				4						1
小計(2科目)				0	0	8	0	0	0	0	0	2
合計(95科目)				67	86	32	7	9	3	1	0	28
卒業要件及び履修方法												
HUSスタンダード科目から20単位(必修18単位、選択必修2単位(SDGs(環境と自然)、SDGs(環境と人権)、SDGs(国際平和と民族)、SDGs(多文化共生)から2単位))、共通科目及び専門教育科目から104単位以上(必修49単位含む)、合計124単位以上を修得すること。												
・履修科目の登録の上限:前期20単位、後期20単位												

【令和7年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			基幹教員等の配置					教員 <small>（助手を除く）</small>
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門教育科目	モバイルシステム構築演習	3後			4		2		1			
	デジタル情報通信入門	1前	○	2			1					
	インターネット工学	1後		2					1			
	インターネットセキュリティ	2前		2			1					
	電気電子回路	2前			2		1					
	コンピュータネットワーク演習	2後			2		2		1		1	
	エンベデッドシステム	3前			2		1					
	ネットワークシステムデザイン	3後			2		1					
	情報と職業	3後			2				1			
	技術者の倫理	4後			2				1			
	情報科学実験Ⅰ	1前	○	2			3	1				
	情報科学実験Ⅱ	1後	○	2			1	2			1	
	情報科学演習	2前	○	2			2					
	情報科学実験Ⅲ	2後	○	2			2		1		1	
	情報科学プロジェクトⅠ	3前	○	2			7	4	2			
情報科学プロジェクトⅡ	3後	○	2			7	4	2				
情報科学プロジェクトⅢ	4前	○	2			7	4	2				
小計(53科目)				34	76	0	7	5	3	1	0	4
卒業研究	4通	○	8				6	4	2			
小計(1科目)				8	0	0	6	4	2	0	0	0
教育の基礎的理解に関する科目	教職入門	2前				2						1
	教育心理学	3前				2						1
	教育課程論	2後				2						1
	教育原理	3前				2						1
	教育の方法及び技術(情報通信技術の活用含む)	3後				2						1
	特別活動及び総合的な探究の時間の指導法	2後				2						1
	特別支援教育	3後				1						1
	生徒指導・進路指導論	4前				2						1
	教育相談	4後				2						1
	教育実習	4通				3						2
	教育制度と学校経営	3前				2						1
	教職実践演習(高)	4後				2						1
小計(12科目)				0	0	24	0	0	0	0	0	5
各教科の指導法	情報科教育法	3通				4						1
	数学科教育法	3通				4						1
小計(2科目)				0	0	8	0	0	0	0	0	2
合計(95科目)				67	86	32	7	9	4	1	0	33
卒業要件及び履修方法												
HUSスタンダード科目から20単位(必修18単位、選択必修2単位(SDGs(環境と自然)、SDGs(環境と人権)、SDGs(国際平和と民族)、SDGs(多文化共生)から2単位))、共通科目及び専門教育科目から104単位以上(必修49単位含む)、合計124単位以上を修得すること。												
・履修科目の登録の上限:前期20単位、後期20単位												

(注)・報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

- ・認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。  
 なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準(令和4年10月1日施行前)に基づき、対象学部等を設置している場合、改正後大学設置基準等(令和4年10月1日施行)の適用以前については、改正前様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
- ・「基幹教員等の配置」欄は、大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は、「専任教員等の配置」としてください。
- ・「基幹教員等の配置」欄の「基幹教員以外の教員(助手を除く)」は、大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は、「専任教員以外の教員(助手を除く)」としてください。
- ・「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の授業科目全て(基幹教員(大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員」)以外の教員(助手を除く)(改正後大学設置基準等の適用以前は兼任、兼任教員)が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字**としてください。  
 なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準等(令和4年10月1日施行前)に基づき、対象学部等を設置している場合、「認可時又は届出時」の「主要授業科目」欄は削除し、「基幹教員等の配置」欄は「専任教員等の配置」、「基幹教員以外の教員(助手を除く)」欄は「兼任・兼任」としてください。その上で、各年度については、「基幹教員(大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員」)数は、認可時又は届出時の「専任教員」数との比較において変更となっている箇所、「基幹教員以外の教員(助手を除く)(大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員以外の教員(助手を除く)」)」数は、認可時又は届出時の「兼任・兼任」数との比較において変更となっている箇所を**赤字**としてください。  
 (専任教員から基幹教員に変更したことをもって赤字とする必要はありません。)
- ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
- ・1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
- ・不要な年度(令和6年度開設であれば令和5年度以前)の表は適宜削除してください。  
 (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
- ・専門職大学等の場合、「実務、実習又は実技による授業科目」には「※」、「臨床実務実習」による授業科目には「臨」、「連携実務演習」による授業科目には「連」を授業科目の名称の右側に記入してください。
- ・指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、旧カリキュラムについても記載してください。  
 その場合は、新旧カリキュラムを全て記載したのち、最後に記載欄を追加し、年度ごとに記載してください。  
 新旧がある年度については、その別がわかるように各年度の右側に(新)又は(旧)と追記してください。  
 (例:記載順)【認可時又は届出時】→【令和7年度】(新)→【令和6年度】(新)→【令和5年度】→【令和4年度】→【令和7年度】(旧)→【令和6年度】(旧)

(1) -②授業科目表に関する変更内容

【令和7年度】

- ・担当者変更の理由により、「課題発見解決法Ⅰ（課題発見解決スキル）」の基幹教員等の配置を「講師1」から「講師0」に変更。
- ・新規就任、担当者変更の理由により、「統計分析法」の基幹教員等の配置を「教授0」から「教授1」に、「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・新規就任、身分昇格の理由により、「フレッシュマンセミナー」の基幹教員等の配置を「教授5」から「教授6」に、「准教授6」から「准教授5」に、「講師1」から「講師2」に変更。
- ・身分昇格の理由により、「+Professionalセミナー」の基幹教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に、「講師1」から「講師0」に変更。
- ・身分昇格の理由により、「SDGs（環境と自然）」の基幹教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に、「講師1」から「講師0」に変更。
- ・身分昇格の理由により、「ビジネススキルⅠ」の基幹教員等の配置を「教授0」から「教授1」に、「准教授2」から「准教授1」に変更。
- ・身分昇格の理由により、「ビジネススキルⅡ」の基幹教員等の配置を「教授0」から「教授1」に、「准教授2」から「准教授1」に変更。
- ・担当者変更の理由により、「技術者のための英語」の基幹教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に変更。
- ・身分昇格の理由により、「データサイエンスプログラミング」の基幹教員等の配置を「教授0」から「教授1」に、「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・未就任の理由により、「システム最適化」の基幹教員等の配置を「教授1」から「教授0」に変更。
- ・新規就任の理由により、「マネジメントとストラテジ」の基幹教員等の配置を「講師0」から「講師1」に変更。
- ・身分昇格の理由により、「プログラミング開発演習」の基幹教員等の配置を「教授0」から「教授1」に、「准教授1」から「准教授0」に、「講師0」から「講師1」に、「助教1」から「助教0」に変更。
- ・身分昇格の理由により、「Javaプログラミング」の基幹教員等の配置を「講師0」から「講師1」に、「助教1」から「助教0」に変更。
- ・身分昇格の理由により、「ビッグデータとデータベース」の基幹教員等の配置を「講師0」から「講師1」に、「助教1」から「助教0」に変更。
- ・身分昇格の理由により、「モバイルシステム構築演習」の基幹教員等の配置を「講師0」から「講師1」に、「助教1」から「助教0」に変更。
- ・身分昇格の理由により、「インターネット工学」の基幹教員等の配置を「講師0」から「講師1」に、「助教1」から「助教0」に変更。
- ・新規就任、身分昇格の理由により、「コンピュータネットワーク演習」の基幹教員等の配置を「教授1」から「教授2」に、「准教授1」から「准教授0」に、「講師0」から「講師1」に変更。
- ・新規就任、身分昇格、担当者変更の理由により、「情報科学実験Ⅰ」の基幹教員等の配置を「教授1」から「教授3」に、「准教授3」から「准教授1」に変更。
- ・新規就任の理由により、「情報科学実験Ⅱ」の基幹教員等の配置を「講師0」から「講師1」に変更。
- ・新規就任、未就任の理由により、「情報科学実験Ⅲ」の基幹教員等の配置を「教授3」から「教授2」に、「講師0」から「講師1」に、「助教0」から「助教1」に変更。
- ・新規就任、未就任、身分昇格の理由により、「情報科学プロジェクトⅠ」の基幹教員等の配置を「教授6」から「教授7」に、「准教授5」から「准教授4」に、「講師1」から「講師2」に、「助教1」から「助教0」に変更。
- ・新規就任、未就任、身分昇格の理由により、「情報科学プロジェクトⅡ」の基幹教員等の配置を「教授6」から「教授7」に、「准教授5」から「准教授4」に、「講師1」から「講師2」に、「助教1」から「助教0」に変更。
- ・新規就任、未就任、身分昇格の理由により、「情報科学プロジェクトⅢ」の基幹教員等の配置を「教授6」から「教授7」に、「准教授5」から「准教授4」に、「講師1」から「講師2」に、「助教1」から「助教0」に変更。
- ・身分昇格の理由により、「卒業研究」の基幹教員等の配置を「教授5」から「教授6」に、「准教授5」から「准教授4」に、「講師1」から「講師2」に、「助教1」から「助教0」に変更。

(注)・ 2 (1) -① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、基幹教員等の配置の変更、

主要授業科目の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を簡条書きで記入してください。

変更がない年度は「特になし。」と記入してください。

- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。また、改正後大学設置基準（令和4年10月1日施行）の適用により、専任教員から基幹教員に変更した場合（例：「専任教員 教授1」から「基幹教員 教授1」に変更）や、兼任・兼任教員から基幹教員以外の教員に変更した場合（例：「兼任教員1」から「基幹教員以外の教員1」に変更）については、記入しないでください。
- ・ 不要な年度（令和6年度開設であれば令和5年度以前）の表は適宜削除してください。
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
36 科目	45 科目	14 科目	95 科目	36 科目 [ 0 ]	45 科目 [ 0 ]	14 科目 [ 0 ]	95 科目 [ 0 ]	

- (注)・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム（新カリキュラム）の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム（旧カリキュラム）の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

(注)・配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

- ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
- ・教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
- ・専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
- ・該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

(注)・設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

- ・教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
- ・専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
- ・該当がない場合は「廃止の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし
------

(注)・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{95} = \boxed{0}\%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

### 3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	北海道科学大学高等学校(収容定員:900人)と 共用。北海道私立高等 学校における必要面積 の基準なし			
	校 舎 敷 地	194,574㎡	19,694㎡	41,825㎡	256,093㎡				
	そ の 他	1,366㎡	0㎡	0㎡	1,366㎡				
	合 計	195,940㎡	19,694㎡	41,825㎡	257,459㎡				
(2) 校 舎	専 用	75,364㎡	5,371㎡	10,213㎡	90,948㎡	北海道科学大学高等学 校(必要面積:5,040 ㎡、収容定員:900人) と共用			
	( 75,364㎡)	( 5,371㎡)	( 10,213㎡)	( 90,948㎡)					
(3) 教室・教員研究室	教 室		418室 420室	教員研究室	187室 182室	大学全体 [教室] 令和7年4月用途 変更のため(7) [教員研究室] 令和7年4 月教員の新規採用のため (7)			
(4) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書		学術雑誌		機 械 ・ 器 具	標 本		
		[うち外国書] 冊	電子図書 [うち外国書]	[うち外国書] 種	電子ジャーナル [うち外国書]			点	点
	情報科学部	5,571 [678]	48 [ 0 ]	593 [ 416 ] 484 [ -302 ]	384 [ 333 ] 280 [ -219 ]	986 943	1,563	[図書、学術雑誌] 令和7年4月購入数の増加 (7) [機械・器具] 学部所有の数を記載。大 学全体での共用分は 380246 学部にかかると 令和7 年3月 他学部からの転用 のため(7) 共用分の数 令和7年3月 他学部の単独学部使用か ら共用化したため(7)	
		(5,450 [678]) (5,367 [678])	( 32 [ 0 ] )	( 593 [ 416 ] ) ( -484 [ -302 ] )	( 384 [ 333 ] ) ( 280 [ -219 ] )	(986) (943)	(1,563)		
計	5,571 [678]	48 [ 0 ]	593 [ 416 ] 484 [ -302 ]	384 [ 333 ] 280 [ -219 ]	986 943	1,563	[標本] 学部等单位での特定不能 なため、大学全体の数		
(5) スポーツ施設等	スポーツ施設		講堂		厚生補導施設		大学全体 [厚生補導施設] 令和7年4月用途変更のた め(7)		
	5,720㎡		0㎡		12,251㎡ 12,329㎡				
(6) 経費の見積り及び 維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	図書購入費は、電子 ジャーナル・デー タベースを含む。共同研 究費等、図書購入費、 設備購入費は学部単位 での特定不能なため、 大学全体の額。
		教員1人当り研究費等	370千円 400千円	400千円	図書購入費	52,609千円 52,698千円	53,944千円 52,698千円	52,698千円	
	共同研究費等	9,458千円 8,820千円	8,820千円	設備購入費	93,121千円 110,205千円	148,357千円 171,112千円	171,112千円	<教員研究費> 年次計画に基づく変更 (7)	
	学生1人当 り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	<共同研究費> 年次計画に基づく変更 (7)	
1,662千円		1,415千円	1,415千円	1,415千円	— 千円	— 千円	<図書購入費> 実績及び年次計画に基 づく変更(7)		
学生納付金以外の維持方法の概要		手数料、私立大学等経常費補助金、資産運用収入、事業収入 等						<設備購入費> 実績及び年次計画に基 づく変更(7)	

(注)・設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)又は(その1の3)に準じて作成してください。

(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はA-C対象学部等の数値を記入してください。)

・「(4)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には報告年度の5月1日現在の数値を記入してください。

・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(6)」を「備考」に赤字で記入してください。

なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。

・校舎等建物の計画の変更(校舎の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

・高等専門学校については「(3)教室・教員研究室」欄の「教員研究室」は記載不要です。

・国立大学については「(6)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	北海道科学大学										収容定員充足率の7割以下の学科数	0	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	1
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考			
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度					
工学部	4	312	0	1,218	-	0.99	-	-	-	-				
機械工学科	4	92	0	368	学士(工学)	0.91	-	-	平成20	北海道札幌市手稲区前田7条15丁目4番1号				
情報工学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	-	平成20	同上	令和7年度入学生より学生募集停止			
電気電子工学科	4	80	0	320	学士(工学)	1.07	1.05	-	平成20	同上				
建築学科	4	90	0	330	学士(工学)	1.07	1.06	-	平成26	同上	令和7年度から入学定員変更(80→90)			
都市環境学科	4	50	0	200	学士(工学)	0.83	-	-	平成26	同上				
情報科学部	4	100	0	100	-	1.08	-	-	-	-				
情報科学科	4	100	0	100	学士(工学)	1.08	-	-	令和7	同上				
薬学部	6	180	0	1,080	-	1.04	0.95	-	-	-				
薬学科	6	180	0	1,080	学士(薬学)	1.04	0.95	-	平成30	同上				
保健医療学部	4	260	0	1,040	-	1.06	1.03	-	-	-				
看護学科	4	90	0	360	学士(看護学)	1.11	1.08	-	平成26	同上				
理学療法学科	4	50	0	200	学士(理学療法学)	1.03	1.00	-	平成26	同上				
義肢装具学科	4	-	-	-	学士(義肢装具学)	-	-	-	平成24	同上	令和7年度入学生より学生募集停止			
臨床工学科	4	70	0	280	学士(臨床工学)	0.94	-	-	平成20	同上				
診療放射線学科	4	50	0	200	学士(放射線技術学)	1.17	1.12	-	平成26	同上				
未来デザイン学部	4	140	0	530	-	1.08	1.05	-	-	-				
メディアデザイン学科	4	90	0	330	学士(工学)	1.11	1.09	-	平成20	同上	令和7年度から入学定員変更(80→90)			
人間社会学科	4	50	0	200	学士(工学)	1.03	0.98	-	平成20	同上				
大学全体	-	992	0	3,968	-	-	-	-	-	-				

(注)・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校(以下「大学等」という。)について、既に設置している学部等(短期大学、高等専門学校にあっては学科等)の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(大学院、専攻科及び別科を除く)  
 なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。  
 ・記載項目以外、保護をかけています。不要な行は、「非表示」設定としてください。また、記載する必要がない学校種の記載欄については、「入学定員超過率」及び「収容定員充足率」が0.7倍以下又は1.15倍以上の学科数を記入する項目を「-」とした上で、「非表示」設定としてください。  
 ・学部/学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。  
 ※「入学定員を定めている組織」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。  
 履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。  
 ・本年度ACの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。  
 ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。  
 開設後、完成年度を迎えていない学科等については、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記載してください。  
 算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和8年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。  
 ・「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。  
 なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。  
 ・「収容定員充足率(控除後含む)」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。  
 また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。当該設定は、学科のみとし、学部及び専攻を太字にする必要はありません。  
 ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。  
 ・「所在地」及び「備考」欄については、セルの結合ではなく、書式設定より設定の上、文字サイズ変更を行ってください。  
 詳しくは、本シート右に記載のコメント機能で操作方法を案内していますので参照ください。

5 教育研究実施組織の状況

<情報科学部 情報科学科>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

【令和7年度】

教員区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	教員区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
基(主専)	教授	川上 敬 <令和8年9月> 博士(工学)	システム最適化 情報科学実験Ⅲ				
基(主専)	教授	松崎 博季 <令和7年4月> 博士(工学)	課題発見解決法Ⅱ(地域課題) フレッシュマンセミナー 情報メディア処理 Webデザイン Webシステムプログラミング クラウドコンピューティング コンピュータネットワーク演習 エンベデッドシステム 情報科学実験Ⅰ 情報科学演習 情報科学プロジェクトⅠ 情報科学プロジェクトⅡ 情報科学プロジェクトⅢ 卒業研究	基(主専)	教授	松崎 博季 <令和7年4月> 博士(工学)	課題発見解決法Ⅱ(地域課題) フレッシュマンセミナー 情報メディア処理 Webデザイン Webシステムプログラミング クラウドコンピューティング コンピュータネットワーク演習 エンベデッドシステム 情報科学実験Ⅰ 情報科学演習 情報科学プロジェクトⅠ 情報科学プロジェクトⅡ 情報科学プロジェクトⅢ 卒業研究
基(主専)	教授	真田 博文 <令和7年4月> 博士(工学)	AI入門 フレッシュマンセミナー 機械学習応用 プログラミング入門 ネットワークシステムデザイン 情報科学演習 情報科学実験Ⅲ 情報科学プロジェクトⅠ 情報科学プロジェクトⅡ 情報科学プロジェクトⅢ 卒業研究	基(主専)	教授	真田 博文 <令和7年4月> 博士(工学)	AI入門 機械学習応用 プログラミング入門 ネットワークシステムデザイン 情報科学演習 情報科学実験Ⅲ 情報科学プロジェクトⅠ 情報科学プロジェクトⅡ 情報科学プロジェクトⅢ 卒業研究
基(主専)	教授	伊澤 毅 <令和7年4月> 博士(理学)	フレッシュマンセミナー 基礎数理解習 微積分基礎 線形代数基礎 微積分学Ⅰ 微積分学Ⅱ 線形代数Ⅰ 線形代数Ⅱ 工業数学Ⅰ 工業数学Ⅱ 幾何学Ⅰ 幾何学Ⅱ 情報科学プロジェクトⅠ 情報科学プロジェクトⅡ 情報科学プロジェクトⅢ 卒業研究	基(主専)	教授	伊澤 毅 <令和7年4月> 博士(理学)	フレッシュマンセミナー 基礎数理解習 微積分基礎 線形代数基礎 微積分学Ⅰ 微積分学Ⅱ 線形代数Ⅰ 線形代数Ⅱ 工業数学Ⅰ 工業数学Ⅱ 幾何学Ⅰ 幾何学Ⅱ 情報科学プロジェクトⅠ 情報科学プロジェクトⅡ 情報科学プロジェクトⅢ 卒業研究
基(主専)	教授	教賀 健志 <令和9年4月> 博士(工学)	情報科学プロジェクトⅠ 情報科学プロジェクトⅡ 情報科学プロジェクトⅢ				
基(主専)	教授	福垣 潤 <令和7年4月> 博士(工学)	フレッシュマンセミナー 情報理論と確率モデル 情報メディア処理演習 電気電子回路 情報科学実験Ⅱ 情報科学プロジェクトⅠ 情報科学プロジェクトⅡ 情報科学プロジェクトⅢ 卒業研究	基(主専)	教授	福垣 潤 <令和7年4月> 博士(工学)	フレッシュマンセミナー 情報理論と確率モデル 情報メディア処理演習 電気電子回路 情報科学実験Ⅱ 情報科学プロジェクトⅠ 情報科学プロジェクトⅡ 情報科学プロジェクトⅢ 卒業研究
				基(主専)	教授	求光 厚夫 <令和7年4月> 博士(工学)	統計分析法Ⅰ 情報科学実験Ⅰ 情報科学プロジェクトⅠ 情報科学プロジェクトⅡ 情報科学プロジェクトⅢ

【認可時又は届出時】

教員区分	職名	氏名 (年齢)
		＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
基(主専)	教授	竹沢(坪田) 恵 ＜令和7年4月＞ 博士(工学)
		フレッシュマンセミナー 情報メディア処理 情報メディア処理演習 プログラミング開発基礎 デジタル情報通信入門 情報科学実験Ⅲ 情報科学プロジェクトⅠ 情報科学プロジェクトⅡ 情報科学プロジェクトⅢ 卒業研究
基(主専)	准教授	深井 裕二 ＜令和7年4月＞ 工学士
		情報処理法 フレッシュマンセミナー 情報科学実験Ⅱ
基(主専)	准教授	塚崎 今日子 ＜令和7年4月＞ 博士(文学)
		日本語表現法(作文、論文) 日本語表現法(読解、分析)
基(主専)	准教授	辻村 呂羽登 ＜令和7年4月＞ MASTER OF EDUCATION (オーストラリア)
		英語(環境) 英語(科学) 英語(時事) <b>技術者のための英語</b>
基(主専)	准教授	和田 直史 ＜令和7年4月＞ 博士(情報科学)
		フレッシュマンセミナー ビジネススキルⅠ ビジネススキルⅡ データサイエンスプログラミング プログラミング開発演習 コンピュータネットワーク演習 情報科学実験Ⅰ 情報科学プロジェクトⅠ 情報科学プロジェクトⅡ 情報科学プロジェクトⅢ 卒業研究
基(主専)	准教授	杉尾 信行 ＜令和7年4月＞ 博士(工学)
		フレッシュマンセミナー 情報数学 セキュリティ理論 モバイルシステム構築演習 インターネットセキュリティ 技術者の倫理 情報科学実験Ⅰ 情報科学プロジェクトⅠ 情報科学プロジェクトⅡ 情報科学プロジェクトⅢ 卒業研究
基(主専)	准教授	奥山 史亮 ＜令和7年4月＞ 博士(文学)
		現代倫理学
基(主専)	准教授	飛田 豊 ＜令和7年4月＞ 博士(理学)
		フレッシュマンセミナー 統計分析法 ビジネススキルⅠ ビジネススキルⅡ 基礎数理演習 微積分基礎 線形代数基礎 微積分学Ⅰ 微積分学Ⅱ 線形代数Ⅰ 線形代数Ⅱ 工業数学Ⅰ 工業数学Ⅱ 情報科学実験Ⅱ 情報科学プロジェクトⅠ 情報科学プロジェクトⅡ 情報科学プロジェクトⅢ 卒業研究

【令和7年度】

教員区分	職名	氏名 (年齢)
		＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
基(主専)	教授	竹沢(坪田) 恵 ＜令和7年4月＞ 博士(工学)
		フレッシュマンセミナー 情報メディア処理 情報メディア処理演習 プログラミング開発基礎 デジタル情報通信入門 情報科学実験Ⅲ 情報科学プロジェクトⅠ 情報科学プロジェクトⅡ 情報科学プロジェクトⅢ 卒業研究
基(主専)	准教授	深井 裕二 ＜令和7年4月＞ 工学士
		情報処理法 フレッシュマンセミナー 情報科学実験Ⅱ
基(主専)	准教授	塚崎 今日子 ＜令和7年4月＞ 博士(文学)
		日本語表現法(作文、論文) 日本語表現法(読解、分析)
基(主専)	准教授	辻村 呂羽登 ＜令和7年4月＞ MASTER OF EDUCATION (オーストラリア)
		英語(環境) 英語(科学) 英語(時事) <b>技術者のための英語</b>
基(主専)	教授	和田 直史 ＜令和7年4月＞ 博士(情報科学)
		フレッシュマンセミナー ビジネススキルⅠ ビジネススキルⅡ データサイエンスプログラミング プログラミング開発演習 コンピュータネットワーク演習 情報科学実験Ⅰ 情報科学プロジェクトⅠ 情報科学プロジェクトⅡ 情報科学プロジェクトⅢ 卒業研究
基(主専)	准教授	杉尾 信行 ＜令和7年4月＞ 博士(工学)
		フレッシュマンセミナー 情報数学 セキュリティ理論 モバイルシステム構築演習 インターネットセキュリティ 技術者の倫理 情報科学実験Ⅰ 情報科学プロジェクトⅠ 情報科学プロジェクトⅡ 情報科学プロジェクトⅢ 卒業研究
基(主専)	准教授	奥山 史亮 ＜令和7年4月＞ 博士(文学)
		現代倫理学
基(主専)	准教授	飛田 豊 ＜令和7年4月＞ 博士(理学)
		フレッシュマンセミナー ビジネススキルⅠ ビジネススキルⅡ 基礎数理演習 微積分基礎 線形代数基礎 微積分学Ⅰ 微積分学Ⅱ 線形代数Ⅰ 線形代数Ⅱ 工業数学Ⅰ 工業数学Ⅱ 情報科学実験Ⅱ 情報科学プロジェクトⅠ 情報科学プロジェクトⅡ 情報科学プロジェクトⅢ 卒業研究

【認可時又は届出時】

教員区分	職名	氏名 (年齢)
		＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
基(主専)	准教授	大江 亮介 ＜令和7年4月＞ 博士(情報科学)
		フレッシュマンセミナー 知能ソフトウェア演習 システム最適化 プログラミング開発基礎 情報と職業 情報科学プロジェクトⅠ 情報科学プロジェクトⅡ 情報科学プロジェクトⅢ 卒業研究
基(主専)	准教授	鈴木 昭弘 ＜令和7年4月＞ 博士(工学)
		フレッシュマンセミナー システム開発 ソフトウェア設計 モバイルシステム構築演習 情報科学実験Ⅰ 情報科学プロジェクトⅠ 情報科学プロジェクトⅡ 情報科学プロジェクトⅢ 卒業研究
基(主専)	講師	福原 朗子 ＜令和7年4月＞ 博士(環境科学)
		+Professionalセミナー SDGs(環境と自然)
基(主専)	講師	郡谷 寿英 ＜令和7年4月＞ 修士(生涯学習学)
		課題発見解決法Ⅰ(課題発見解決スキル) 課題発見解決法Ⅱ(地域課題)
基(主専)	講師	松川 瞬 ＜令和7年4月＞ 博士(工学)
		データサイエンス フレッシュマンセミナー Pythonプログラミング 情報科学プロジェクトⅠ 情報科学プロジェクトⅡ 情報科学プロジェクトⅢ 卒業研究
基(主専)	助教	荒澤 孔明 ＜令和7年4月＞ 博士(工学)
		フレッシュマンセミナー プログラミング開発演習 Javaプログラミング ビッグデータとデータベース モバイルシステム構築演習 インターネット工学 情報科学プロジェクトⅠ 情報科学プロジェクトⅡ 情報科学プロジェクトⅢ 卒業研究
その他	教授	青山 和弘 ＜令和7年4月＞ 文学士
		SDGs(環境と人権) 教育課程論 生徒指導・進路指導論 教育相談 教育実習 教育制度と学校経営
その他	教授	小川 直久 ＜令和7年4月＞ 博士(理学)
		SDGs(国際平和と民族)
その他	教授	出口 寿久 ＜令和8年4月＞ 修士(教育学)
		課題発見解決法Ⅱ(地域課題)

【令和7年度】

教員区分	職名	氏名 (年齢)
		＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
基(主専)	准教授	大江 亮介 ＜令和7年4月＞ 博士(情報科学)
		フレッシュマンセミナー 知能ソフトウェア演習 システム最適化 プログラミング開発基礎 情報と職業 情報科学プロジェクトⅠ 情報科学プロジェクトⅡ 情報科学プロジェクトⅢ 卒業研究
基(主専)	准教授	鈴木 昭弘 ＜令和7年4月＞ 博士(工学)
		フレッシュマンセミナー システム開発 ソフトウェア設計 モバイルシステム構築演習 情報科学実験Ⅰ 情報科学プロジェクトⅠ 情報科学プロジェクトⅡ 情報科学プロジェクトⅢ 卒業研究
基(主専)	准教授	福原 朗子 ＜令和7年4月＞ 博士(環境科学)
		+Professionalセミナー SDGs(環境と自然)
基(主専)	講師	郡谷 寿英 ＜令和7年4月＞ 修士(生涯学習学)
		課題発見解決法Ⅱ(地域課題)
基(主専)	講師	松川 瞬 ＜令和7年4月＞ 博士(工学)
		データサイエンス フレッシュマンセミナー Pythonプログラミング 情報科学プロジェクトⅠ 情報科学プロジェクトⅡ 情報科学プロジェクトⅢ 卒業研究
基(主専)	講師	荒澤 孔明 ＜令和7年4月＞ 博士(工学)
		フレッシュマンセミナー プログラミング開発演習 Javaプログラミング ビッグデータとデータベース モバイルシステム構築演習 インターネット工学 情報科学プロジェクトⅠ 情報科学プロジェクトⅡ 情報科学プロジェクトⅢ 卒業研究
基(主専)	助教	松本 拓 ＜令和7年4月＞ 博士(コンピュータ理工学)
		フレッシュマンセミナー 情報科学実験Ⅲ
その他	教授	青山 和弘 ＜令和7年4月＞ 文学士
		SDGs(環境と人権) 教育課程論 生徒指導・進路指導論 教育相談 教育実習 教育制度と学校経営
その他	教授	小川 直久 ＜令和7年4月＞ 博士(理学)
		SDGs(国際平和と民族)

【認可時又は届出時】

教員区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
その他	教授	坂部 俊行 <令和7年4月> 修士(文化情報)
		英語(環境) 英語(科学) 英語(時事)
その他	教授	金澤 昭良 <令和7年4月> 修士(教育学)
		SDGs(環境と人権) 教職入門 教育の方法及び技術(情報通信 技術の活用含む) 特別活動及び総合的な探究の時 間の指導法 教育実習 教職実践演習(高) 情報科教育法
その他	教授	塚越 久美子 <令和7年4月> 文学修士
		日本語表現法(作文、論文) 日本語表現法(読解、分析) ビジネススキル I
その他	教授	小野 祥康 <令和7年4月> 修士(教育学)
		英語(環境) 英語(科学) 英語(時事)
その他	准教授	荏原(立澤) 小百合 <令和7年4月> 博士(文学)
		SDGs(多文化共生)
その他	准教授	奥山 豪 <令和7年4月> 博士(理学)
		基礎数理演習
その他	准教授	春名 弘一 <令和8年4月> 博士(工学)
		キャリア形成 II
その他	講師	吉米地 伸泰 <令和7年4月> 博士(教育学)
		体育実技 I 体育実技 II 健康科学
その他	講師	細川 裕司 <令和7年4月> 文学修士
		技術者のための英語 英語(環境) 英語(科学) 英語(時事)
その他	講師	藤根 収 <令和8年9月> 修士(教育学)
		特別支援教育

【令和7年度】

教員区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
その他	教授	坂部 俊行 <令和7年4月> 修士(文化情報)
		英語(環境) 英語(科学) 英語(時事) <b>技術者のための英語</b>
その他	教授	金澤 昭良 <令和7年4月> 修士(教育学)
		SDGs(環境と人権) 教職入門 教育の方法及び技術(情報通信 技術の活用含む) 特別活動及び総合的な探究の時 間の指導法 教育実習 教職実践演習(高) 情報科教育法
その他	教授	小野 祥康 <令和7年4月> 修士(教育学)
		英語(環境) 英語(科学) 英語(時事) <b>技術者のための英語</b>
その他	准教授	荏原(立澤) 小百合 <令和7年4月> 博士(文学)
		SDGs(多文化共生)
その他	准教授	奥山 豪 <令和7年4月> 博士(理学)
		基礎数理演習
その他	教授	春名 弘一 <令和7年9月> 博士(工学)
		<b>キャリア形成 I</b> キャリア形成 II
その他	准教授	吉米地 伸泰 <令和7年4月> 博士(教育学)
		体育実技 I 健康科学
その他	講師	<b>工藤 博己</b> <令和7年4月> 学士(体育)
		<b>体育実技 I</b>
その他	講師	細川 裕司 <令和7年4月> 文学修士
		技術者のための英語 英語(環境) 英語(科学) 英語(時事)
その他	講師	<b>小笠原 聡</b> <令和7年9月> 学士(体育学)
		<b>体育実技 II</b>
その他	講師	藤根 収 <令和8年9月> 修士(教育学)
		特別支援教育

【認可時又は届出時】

教員区分	職名	氏名 (年齢)
		＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	中村 香恵子 ＜令和7年4月＞ 博士(国際広報メディア)
		英語(環境) 英語(科学) 英語(時事) 技術者のための英語
その他	講師	高村 政志 ＜令和9年9月＞ 理学修士
		確率統計
その他	講師	菅原 和良 ＜令和9年4月＞ 理学士
		教育原理
その他	講師	平田 嘉宏 ＜令和9年4月＞ 理学士
		数学科教育法
その他	講師	佐藤 美伸 ＜令和8年4月＞ 学士(人間関係学)
		キャリア形成Ⅱ
その他	講師	村澤 和多里 ＜令和9年4月＞ 博士(教育学)
		教育心理学
その他	講師	榊原 佐和子 ＜令和8年4月＞ 博士(心理学)
		キャリア形成Ⅱ
その他	講師	Matthew Ebrey ＜令和7年4月＞ Bachelor of International Hospitality Management (ニュージーランド)
		英語(環境) 英語(科学) 英語(時事) 技術者のための英語
その他	講師	大川 良輔 ＜令和7年4月＞ 修士(文学)
		日本語表現法(作文、論文) 日本語表現法(読解、分析)
その他	講師	佐藤 亮太郎 ＜令和7年4月＞ 修士(文学)
		日本語表現法(作文、論文) 日本語表現法(読解、分析)
その他	講師	根本 愛 ＜令和7年9月＞ 修士(理学)
		情報科学実験Ⅱ
その他	講師	坪田 芳典 ＜令和8年9月＞ 博士(政治学)
		日本国憲法

【令和7年度】

教員区分	職名	氏名 (年齢)
		＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	中村 香恵子 ＜令和7年4月＞ 博士(国際広報メディア)
		英語(環境) 英語(科学) 英語(時事) 技術者のための英語
その他	講師	高村 政志 ＜令和9年9月＞ 理学修士
		確率統計
その他	講師	菅原 和良 ＜令和9年4月＞ 理学士
		教育原理
その他	講師	平田 嘉宏 ＜令和9年4月＞ 理学士
		数学科教育法
その他	講師	平岡 英樹 ＜令和7年4月＞ 体育学士
		体育実技Ⅰ
その他	講師	佐藤 美伸 ＜令和8年4月＞ 学士(人間関係学)
		キャリア形成Ⅱ
その他	講師	樋口 真典子 ＜令和7年4月＞ 学士(文学)
		英語(環境) 英語(科学) 英語(時事) 技術者のための英語
その他	講師	村澤 和多里 ＜令和9年4月＞ 博士(教育学)
		教育心理学
その他	講師	榊原 佐和子 ＜令和8年4月＞ 博士(心理学)
		キャリア形成Ⅱ
その他	講師	Matthew Ebrey ＜令和7年4月＞ Bachelor of International Hospitality Management (ニュージーランド)
		英語(環境) 英語(科学) 英語(時事) 技術者のための英語
その他	講師	大川 良輔 ＜令和7年4月＞ 修士(文学)
		日本語表現法(作文、論文) 日本語表現法(読解、分析)
その他	講師	佐藤 亮太郎 ＜令和7年4月＞ 修士(文学)
		日本語表現法(作文、論文) 日本語表現法(読解、分析)
その他	講師	根本 愛 ＜令和7年9月＞ 修士(理学)
		情報科学実験Ⅱ
その他	講師	坪田 芳典 ＜令和8年9月＞ 博士(政治学)
		日本国憲法

【認可時又は届出時】

【令和7年度】

教員区分	職名	氏名 (年齢)	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月> 保有学位等		<就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名		担当授業科目名
その他	講師	川上 あき <令和7年9月> 法務博士(専門職)	講師	川上 あき <令和7年9月> 法務博士(専門職)
		キャリア形成Ⅰ キャリア形成Ⅱ		キャリア形成Ⅰ キャリア形成Ⅱ
その他	講師	黒田 裕太 <令和7年4月> 博士(教育学)	講師	黒田 裕太 <令和7年4月> 博士(教育学)
		体育実技Ⅰ 体育実技Ⅱ		体育実技Ⅰ 体育実技Ⅱ
			その他	Mariko Tracy Allemen <令和7年4月> 学士(文学)
				英語(環境) 英語(科学) 英語(時事) 技術者のための英語
その他	講師	宮下 元利 <令和7年4月> 学士(工学)		
		システムアドミニストレーション 情報テクノロジー基礎		
			その他	藤田 敏康 <令和7年4月> 博士(音楽芸術)
				英語(環境) 英語(科学) 英語(時事) 技術者のための英語
			その他	金沢 和樹 <令和7年4月> 修士(工学)
				システムアドミニストレーション 情報テクノロジー基礎
その他	講師	丹羽 孔明 <令和7年9月> 博士(工学)	講師	丹羽 孔明 <令和7年4月> 博士(工学)
		マネジメントとストラテジ コンピュータネットワーク演習 情報科学実験Ⅱ 情報科学実験Ⅲ		マネジメントとストラテジ コンピュータネットワーク演習 情報科学実験Ⅱ 情報科学実験Ⅲ
その他	助教	本宮 大輔 <令和7年9月> 修士(工学)	助教	本宮 大輔 <令和7年9月> 修士(工学)
		課題発見解決法Ⅰ(課題発見解決スキル) 課題発見解決法Ⅱ(地域課題)		課題発見解決法Ⅰ(課題発見解決スキル) 課題発見解決法Ⅱ(地域課題)

(注) 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

- 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)(その2の2)(その2の3)に準じて作成してください。
- なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準等(令和4年10月1日施行前)に基づき、対象学部等を設置している場合、改正後大学設置基準等(令和4年10月1日施行)の適用以前については、改正前様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
- 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る届出書類作成の手引」の「教員名簿」を確認してください。
- 「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の教員全て(基幹教員(大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員」)以外の教員(助手を除く)(改正後大学設置基準等の適用以前は兼任、兼任教員を含む。))を黒字でその上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字**としてください。
- 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
- 記載は、設置認可時又は届出時における「大学の設置等に係る届出書類作成の手引」の「教員名簿」に記載されている「教員区分」(改正後大学設置基準等の適用以前は「専任等区分」)の順に記入してください。
- 改正後大学設置基準等(令和4年10月1日施行)の適用以降については、主要授業科目にあたる「担当授業科目名」に下線を引いてください。(大学院、高等専門学校は除く)
- 教員がサバティカル等で不在の期間がある場合、その期間(年月日)を上段「学位」の下へ記入してください。
- 不要な年度(令和6年度開設であれば令和5年度以前)の表は適宜削除してください。
- 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「担当授業科目名」の上段に変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目名を記入するとともに、下段に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目名を記入してください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和7年度】

- ・川上 敬教授が基幹教員の変更により未就任。
- ・敦賀健志教授が基幹教員の変更により未就任。
- ・末光厚夫教授が令和7年4月新規採用により就任。「フレッシュマンセミナー」「統計分析法」「情報科学実験Ⅰ」「情報科学プロジェクトⅠ」「情報科学プロジェクトⅡ」「情報科学プロジェクトⅢ」を担当。
- ・授業担当者変更により、辻村呂羽登准教授が「技術者のための英語」を担当。
- ・和田直史准教授が令和7年4月昇格により、教授に職名変更。
- ・福原朗子講師が令和7年4月昇格により、准教授に職名変更。
- ・荒澤孔明助教が令和7年4月昇格により、講師に職名変更。
- ・松本 拓助教が令和7年4月新規採用により就任。「フレッシュマンセミナー」「情報科学実験Ⅲ」を担当。
- ・授業担当者変更により、坂部俊行教授が「技術者のための英語」を担当。
- ・授業担当者変更により、小野祥康教授が「技術者のための英語」を担当。
- ・春名弘一准教授が令和7年4月昇格により、教授に職名変更。授業担当者変更により、「キャリア形成Ⅰ」を担当。
- ・苫米地伸泰講師が令和7年4月昇格により、准教授に職名変更。
- ・授業担当者変更により、工藤博己講師が「体育実技Ⅰ」を担当。
- ・授業担当者変更により、小笠原 聡講師が「体育実技Ⅱ」を担当。
- ・授業担当者変更により、平岡英樹講師が「体育実技Ⅰ」を担当。
- ・授業担当者変更により、樋口恵美子講師が「英語(環境)」「英語(科学)」「英語(時事)」「技術者のための英語」を担当。
- ・授業担当者変更により、Matthew Ebrey講師が「技術者のための英語」を担当。
- ・授業担当者変更により、大川良輔講師が「日本語表現法(作文、論文)」「日本語表現法(読解、分析)」を担当。
- ・授業担当者変更により、佐藤亮太郎講師が「日本語表現法(作文、論文)」「日本語表現法(読解、分析)」を担当。
- ・授業担当者変更により、Mariko Tracy Alleman講師が「英語(環境)」「英語(科学)」「英語(時事)」「技術者のための英語」を担当。
- ・授業担当者変更により、藤田敏康講師が「英語(環境)」「英語(科学)」「英語(時事)」「技術者のための英語」を担当。
- ・授業担当者変更により、金沢和樹講師が「システムアドミニストレーション」「情報テクノロジー基礎」を担当。
- ・丹羽孔明講師が令和7年4月新規採用により、教員区分が「その他」から「基幹教員(主専)」に変更。

(注)・変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。

- ・ **認可で設置された学部等の基幹(専任)教員を変更する場合は**、当該基幹(専任)教員が授業を開始する前に必ず「基幹(専任)教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(A C教員審査)を受けてください。

**原則としてA C教員審査を受けずに基幹(専任)教員として授業等を担当することは出来ません。**

なお、改正前大学設置基準等に基づいて認可を受けて設置された学部等が、改正後大学設置基準等への適用のため、大学が基幹教員の要件を満たすと判断した

「専任教員」を「基幹教員」とする場合は、A C教員審査を受審する必要はない扱いとしています。(改正後大学設置基準等の適用にあたり、

「基幹教員」の担当授業科目を追加する場合、「基幹教員」の担当授業科目の内容を変更するなど、A C教員審査の受審を求めている事由が発生する場合は、A C教員審査を受審する必要があります。)

- ・ A C教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。

なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。

- ・ 不要な年度(令和6年度開設であれば令和5年度以前)の表は適宜削除してください。

(2) 基幹教員数等

(注)・計画の区分が「学部等連係課程実施基本組織(学科連係課程実施学科)の設置」の場合、大学設置基準第四十一条第二項(短期大学設置基準第三条の二)に基づく「連係協力学部等(連係協力学科)」の基幹教員数について、「(2)-① 設置基準上の必要基幹教員数」及び「(2)-② 基幹教員等数【大学】」を連係協力学部等(連係協力学科)ごとに別ファイルで作成してください。

(2)-① 設置基準上の必要基幹教員数

完成年度時における設置基準上の必要基幹教員数(α)	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数	うち、完成年度時における設置基準上の専ら当該学部等の教育研究に従事する必要基幹教員数(α)の4分の3以上)
14	7	11
名	名	名

(注)・大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一、高等専門学校設置基準第六条第九項により算出される基幹教員数を記入してください。  
 ・高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

(2)-② 基幹教員等数【大学・高専】

設置時の計画						現在(報告時)の状況							
教授	准教授	講師	助教	計(A)	うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者(「基(主専)」及び「基(専)」の計(A'))	助手(A')	教授	准教授	講師	助教	計(B)	うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者(「基(主専)」及び「基(専)」の計(B'))	助手(B')
7	9	3	1	20	20	0	7	9	4	1	21	21	0
(5)	(9)	(3)	(1)	(18)	(18)	0							
現在(報告時)の完成年度時の状況						現在(報告時)の完成年度時の計画							
教授	准教授	講師	助教	計(C)	うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者(「基(主専)」及び「基(専)」の計(C'))	助手(C')	教授	准教授	講師	助教	計(D)	うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者(「基(主専)」及び「基(専)」の計(D'))	助手(D')
7	9	3	1	20	20	0	7	9	3	1	20	20	0
[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]

(注)・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( )内に開設時の状況を記入してください。  
 高等専門学校の場合、「うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者(「基(主専)」及び「基(専)」の計(A'))」欄は、「うち専ら当該高等専門学校の教育に従事する者(「基(主専)」及び「基(専)」の計(A'))」として記入してください。  
 なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準(令和4年10月1日施行前)に基づき、対象学部等を設置している場合、「設置時の計画」欄は「設置時の計画(改正前大学設置基準等)」とした上で、「専任教員」及び「助手」の人数を記入してください。  
 また、「計(A)」の「うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者(「基(主専)」及び「基(専)」の計(A'))」欄には「-」を記入してください。  
 ・「現在(報告時)の状況」には、報告年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。  
 ・「現在(報告時)の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、教員審査を要済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、[ ]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：△1)  
 ・「現在(報告時)の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[ ]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：△1)

(2)-③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢(歳)	報告時(上記(B))の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時(上記(C))の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
63	0	1
歳	名	名

(注)・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二桁書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2)-④ 設置時の計画に対する教員充足率

【基幹教員全体】  
 現在(報告時)の完成年度時の状況(C)  $\frac{20}{20} = 100\%$   
 設置時の計画(A)

【基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者】  
 現在(報告時)の完成年度時の状況(C')  $\frac{20}{20} = 100\%$   
 設置時の計画(A')

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑤ 現在(報告時)の状況における定年を延長している教員構成率

報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数  $\frac{0}{21} = 0\%$   
 現在(報告時)の状況(B)

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

現在(報告時)の完成年度時の状況(C')  $\frac{0}{0} = -\%$   
 設置時の計画(A')

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 基幹（専任）教員辞任等の理由

(3) -① 基幹（専任）教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	基幹（専任）教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由				
1	教授	川上 敬	R8.9	選択	システム最適化	①	R7.4 基幹教員の変更により未就任（7）				
				必修	情報科学実験Ⅲ	①					
2	教授	敦賀 健志	R9.4	必修	情報科学プロジェクトⅠ	①		R7.4 基幹教員の変更により未就任（7）			
				必修	情報科学プロジェクトⅡ	①					
				必修	情報科学プロジェクトⅢ	①					
合計（D）			後任補充状況の集計（E）								
就任を辞退した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
2	人	必修		4	科目	必修	4	科目	必修	0	科目
		選択		1	科目	選択	1	科目	選択	0	科目
		自由		0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計		5	科目	計	5	科目	計	0	科目

(注)・認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての基幹（専任）教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。

- ・「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -②基幹（専任）教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
- ・昨年度の報告後から今年度の報告時まで基幹（専任）教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
- ・また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・基幹（専任）教員が担当する（している）場合は「①」
- ・基幹（専任）教員以外の教員（兼任兼担教員）が担当する（している）場合は「②」
- ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 基幹（専任）教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	基幹（専任）教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
		該当なし									
合計（F）			後任補充状況の集計（G）								
辞任した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
0	人	必修		0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択		0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由		0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計		0	科目	計	0	科目	計	0	科目

(注)・一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての基幹（専任）教員について、記入してください。

- （学年進行中に基幹教員の要件を満たさなくなったことにより、基幹教員でなくなった教員についても記入してください。）
- ・昨年度の報告後から今年度の報告時まで基幹（専任）教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
- ・また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・基幹（専任）教員が担当する（している）場合は「①」
- ・基幹（専任）教員以外の教員（兼任兼担教員）が担当する（している）場合は「②」
- ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -③ 上記 (3) -① ・ (3) -② の合計

合計 (D) + (F)			後任補充状況の集計 (E) + (G)								
辞任等した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
2	人	必修		4	科目	必修	4	科目	必修	0	科目
		選択		1	科目	選択	1	科目	選択	0	科目
		自由		0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計		5	科目	計	5	科目	計	0	科目

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計 (D) + (F)}}{(2) - ② \text{設置時の計画 (A)}} = \frac{2}{18} = 11.11 \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) -⑤ 令和6年度報告書から、新たに辞任等した基幹（専任）教員等の状況

2 人

(注)・(3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した基幹（専任）教員数の合計数を記載してください。

- ・令和7年度開設の学科等の場合、(D) + (F) と同数を記載してください。

(3) 一⑥ 定年により退職した基幹（専任）教員に対する後任補充状況

番号	職位	基幹（専任）教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
		該当なし								
合計					後任補充状況の集計					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注)・定年により退職した全ての基幹（専任）教員について、記入してください。
- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに基幹（専任）教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
  - ・また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・基幹（専任）教員が担当する（している）場合は「①」</li> <li>・基幹（専任）教員以外の教員（兼任兼担教員）が担当する（している）場合は「②」</li> <li>・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」</li> </ul> |
|---|

(4) 基幹（専任）教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

未就任となった教員が担当を予定していた開講科目について、開講期は令和9年度以降であるものの、他の基幹教員に担当を変更しており授業の実施・進行に問題はなく、設置計画上の授業運営に支障をきたすことなく開講が可能となった。  
 なお、学生への周知は、ガイダンスで年間の授業担当教員を記載した授業時間割表を配布することにより行う。また、授業支援システム上で全シラバスを公開し、授業担当教員と内容の周知を図る。

- (注)・上記（3）の基幹（専任）教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

## 6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の の 実 施 計 画
届 出 時 (令和6年)	該当なし		

- (注)・「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおり記載してください。
    - 【令和6年度報告書から記載内容に変更がある場合】  
令和6年度報告書の記載内容を転記し文末に「（6）」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（7）」と記載してください。
    - 【令和6年度報告書から記載内容に変更がない場合】  
令和6年度報告書の記載内容を転記し文末に「（6）（7）」と記載してください。
    - 【令和7年度から新たに調査対象となった学科等又は令和6年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】  
「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（7）」と記載してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入**してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
  - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
  - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

## 7 その他全般的事項

<情報科学部 情報科学科>

### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
設置計画どおり遂行されているため、記載すべき変更事項等はなし	

(注)・1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

### (2) 教員の資質の維持向上の方策(FD・SD活動含む)

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>添付資料のとおり (ファカルティ・ディベロップメント規程)</p> <p>b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)</p> <p>令和6年度の開催状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回FD委員会 令和6年 4月16日(火) 教員参加人数14名</li> <li>・第2回FD委員会 令和6年 7月18日(木) 教員参加人数17名</li> <li>・第3回FD委員会 令和6年 8月23日(金) 教員参加人数17名</li> <li>・第4回FD委員会 令和6年10月15日(火) 教員参加人数17名</li> <li>・第5回FD委員会 令和6年12月11日(水) 教員参加人数13名</li> <li>・第6回FD委員会 令和7年 2月26日(水) 教員参加人数17名</li> </ul> <p>c 委員会の審議事項等</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 「教育履行上求められる資質・能力」の向上を図るための研修に関すること</li> <li>(2) 全学的FDの計画立案と実施に関すること</li> <li>(3) 教育組織ごとに実施されたFD活動の結果集約とその発表に関すること</li> <li>(4) 授業改善のためのアンケートに関すること</li> <li>(5) FDのための組織体制に関すること</li> <li>(6) その他組織的教育活動に必要と認められる事項</li> </ol> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全学FD研修会、組織別FD(学科毎、大学院毎)研修会、新任教職員研修会、授業公開・参観、学生FD委員による教育活動への参画</li> </ul> <p>b 実施方法</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 全学FD・SD研修会、組織別FD研修会 教育改革、授業設計、職能向上のための研究、研修及び活動報告</li> <li>(2) 新任教職員研修会 本学の教育制度及び教育研究組織等についての理解を深めること、新規採用者が早期に活躍することを目的とした研修の実施</li> <li>(3) 授業公開・参観 全学科を対象とし前後期に実施(他学科教員及び事務職員も参観可能)</li> <li>(4) 学生FD委員による教育活動への参画 各学科各学年において学生FD委員を委嘱し、前後期に授業アンケート結果を基に意見を聴取する</li> </ol> <p>c 開催状況(教員の参加状況含む)</p> <p>令和6年度のFD・SD研修会実施状況 実施回数 112回 教員の延べ参加人数 1,915名</p> <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各研修会の内容を踏まえた授業改善の検討</li> <li>・授業公開を通じた自己の授業の客観的な振り返りと、授業改善の成果の共有</li> <li>・生成AIを活用した授業デザイン支援等の検討</li> </ul> <p>③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況</p> <p>a 実施の有無及び実施時期</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前期及び後期の各科目の最終授業日に実施することを基本とし、全科目において実施 希望する科目は、中間時点においても実施し、授業内でフィードバックを行う</li> </ul> <p>b 教員や学生への公開状況、方法等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・科目担当教員は、自身の担当科目について学内システムからアンケート結果の数値データ及び記述式設問に対して記載されたテキストを閲覧でき、フィードバックコメントを入力することができる</li> <li>・学生は履修科目のアンケート結果及び科目担当教員のフィードバックコメントを学内システムで閲覧することができる</li> </ul>
--

(注)・「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。  
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

情報科学部情報科学科では、社会で求められる基盤能力としてのコミュニケーション力、課題発見解決力、自らを律し、学び続ける力並びに多様な視点から物事を捉え異なる意見を理解する力を身に付け、加えて知能情報処理や情報システムなどの情報科学分野に関する知識と技術を修得し、それらを総合的に活用して変化の激しい高度情報化社会の構築、維持、発展を支え得る人材を養成する。

今年度開設のため、達成状況に関する評価は行っていないが、本学の自己点検・評価規程に基づき自己点検・評価を実施するとともに、全学的及び組織的FD活動を活発に行い、目的の達成に向けて問題点と改善案の収集蓄積を継続する。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・令和3年度大学機関別認証評価 自己点検評価書  
令和3年6月発行・令和4年4月公開済
- ・令和6年度自己点検・評価報告書  
令和7年6月発行・公開予定
- ・令和9年度大学機関別認証評価 自己点検評価書  
令和9年6月発行予定

b 公表方法

- ・自己点検評価書を大学HP上に公開

③ 認証評価を受ける計画

(専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院については、機関別認証評価と分野別認証評価それぞれの受審計画について記載してください。)

- ・令和9年度日本高等教育評価機構による認証評価受審予定（令和3年度認定）

(注)・設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和7年度）

a 公表予定の有無 [  有 ・  無 ]

≪ a で「有」の場合 ≫

b 公表（予定）時期 [ 調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降 ]

c 公表方法 [ ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ( ) ]

≪ a で公表「無」の場合 ≫

d 公表しない理由 [ ]

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイトに掲載するなど、積極的な情報提供をお願いします。